

m.m.m...

アーチが起きる。

取り組んだのは、そんな空間の生まれ方だ。線材や面材で、立体の輪郭をなぞるように組み立てるのではなく、あらかじめ平面で組んだものから、アーチを生み出す。1つの平面の状態から立体を生み出す空間生成システムをデザインした。

具体的には、以下のプロセスを経る。

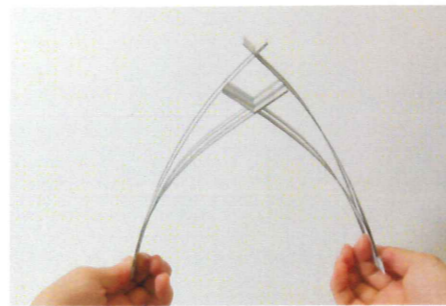
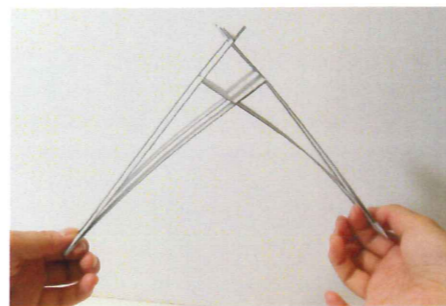
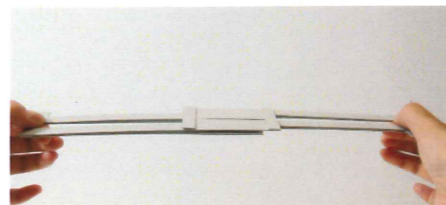
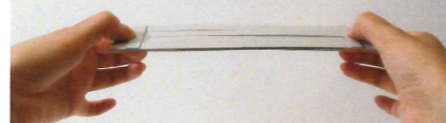
1. 櫛状のパーツを互い違いに組み合わせる。
2. スライドさせる。
3. 頂点を起こす。
4. 足元に引張り力を加える。
5. 足元を床材で固定する。

この構法は、板材に曲げを加えることで、頂点部分が締め付け合い安定する架構である。

全体がバネのように弾性域内でしなすることで風圧力や地震力に耐えると同時に、人に触れる部分は柔らかく、曲線による空間は人に優しい印象を与える。木のしなやかさを生かした構造システムである。木のアーチ空間は、木のしなやかな記憶を呼び覚ます。



平面から立体へ



内観／木のしなやかなさに囲まれた空間

